

チャイルドライン とちぎ



チャイルドラインとちぎは18歳までの子どもがかける子ども専用電話です。現在、全国のチャイルドラインと連携し、毎日16～21時までフリーダイヤルでつながります。2018年からチャット相談も開設しています。



『風』
松江 比佐子

私たちは
「子どもの権利条約」の理念に基づき
すべての子どもたちの豊かな「子ども時代」が保障され、
自分らしく生きていくことができる社会作りを
目指しています。

| | | |
|------------------------|-----|----|
| データから見える子どもの状況 | ・・・ | P2 |
| 子どもの声から | ・・・ | P3 |
| チャイルドライン全国キャンペーン報告 | ・・・ | P4 |
| 研修報告 「死にたい」と訴える子どもへの対応 | ・・・ | P5 |

発行元

認定NPO 法人チャイルドラインとちぎ広報部
〒320-0837 宇都宮市弥生1-6-3
Tel & Fax 028-614-3253
E-mail info@cltochigi.org
<http://cltochigi.org>

この冊子は2022年度日本郵便年賀寄付金の助成を受けて作成しました。



日本郵便 年賀寄付金

データから見える子どもの状況

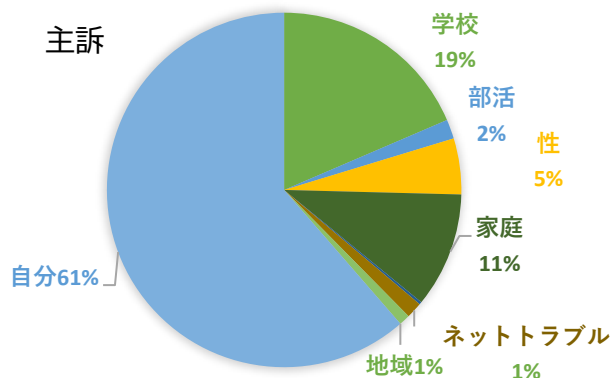
～チャイルドラインとちぎ 2022 年のデータから～

チャイルドラインとちぎにアクセスがあった電話とチャットの件数を、主訴（最も話したかったこと）、アクセスした動機について項目に分けてグラフにしました。

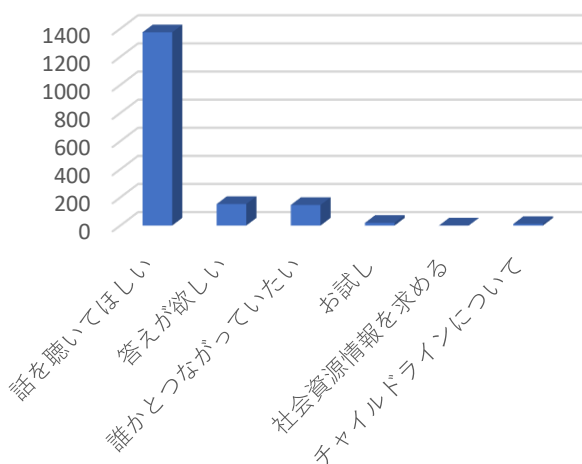
集計期間 2022 年 1 月 1 日～12 月 31 日

電話

| | |
|----------|---------|
| 実施日数 | 127 日 |
| 会話ができた件数 | 1,704 件 |
| 無言・一言等 | 5,190 件 |
| 平均通話時間 | 17 分 |
| 総実施時間 | 635 時間 |

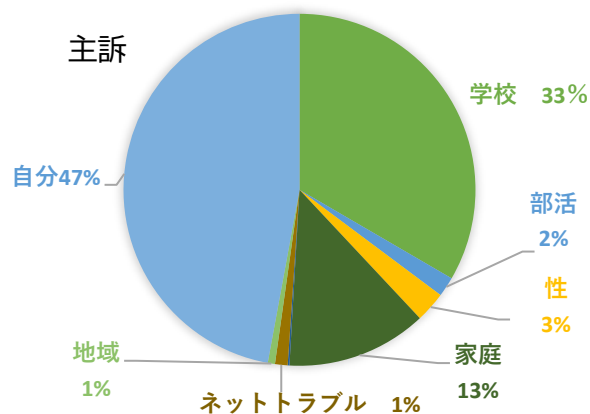


動機

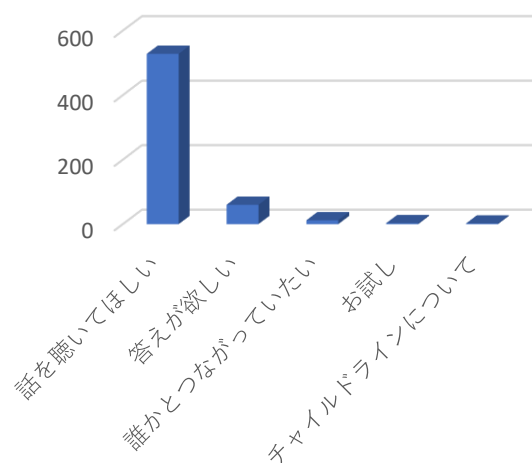


チャット

| | |
|----------|--------|
| 実施日数 | 45 日 |
| 会話ができた件数 | 605 件 |
| 平均会話時間 | 37 分 |
| 総実施時間 | 225 時間 |



動機



データから見える子どもの状況

電話、チャットともに多くの子どもたちが「自分」のことを主訴にしています。自分自身の内面的な悩みが多いことを示しています。そして動機については「話を聴いてほしい」が多くを占めています。自分のことを否定せずに認めてほしいという思いが動機であることも多いと感じています。また「話し相手」を求めているとも考えられます。

◇-- 子どもの声から --◇

今年もたくさんの子どもの声や電話やチャットで聴いてきました。特に、新型コロナウイルス感染症の流行や、社会情勢、災害や事件が子どもたちに与える心理的影響の大きさを感じます。

以下の「子どもの声」はプライバシーに配慮して再構成しています。

コロナ禍や社会情勢の中で

- ・戦争や地震のニュースを聞いて不安になるし怖い。
- ・安倍さんの事件が衝撃的だった。自分の親も宗教団体に入っている。
- ・マスクの生活が長いので顔を出すことになれていない。顔を見られたくない。

ネットの危険性

- ・知らない人と話すようなアプリをやっている。人と関わりたいとは思うけどこれでいいのか。
- ・一日3時間くらいTwitterに時間を費やしている。依存していると思う。

自分のこと

- ・自分の体が気持ち悪い。自分は女の子だけど男の体に生まれてきた。
- ・感覚過敏で人と上手くやっていけない。どっと疲れが出て寝込んでしまう。
- ・家にお金がなくてギリギリで、塾にも行けないし将来の選択肢も狭くなると思う。

友だちのこと

- ・いじめられている子がいて心配。傍観者になるのは嫌だけど声をかける勇気がない。
- ・グループLINEでそこにいない誰かをターゲットにして悪口を言っているのを知って嫌な気持ち。

勉強のこと

- ・明日のテストが不安で気持ちが落ち着かない。ちょっと電話で話してから勉強しようかなあ。
- ・中学受験をするために塾に通っていて体力的につらい。ゆっくり休みたい。

家庭で

- ・家族からタバコの火を押し付けられやけどをした。このことは誰にも話していない。
- ・親に過度に期待されていて、テストの点数が悪いとどなられる。

希死念慮・脅迫観念

- ・内面的なことよりも見た目重視。可愛いことは正義。自分が嫌で過食してしまう。
- ・勉強のストレス、精神面のストレスから自傷行為がやめられない。
- ・死にたい気持ちが強くなって、薬を過剰摂取したけど死にきれなかった。

2022チャイルドライン全国キャンペーン報告

【聴かせてほしい あなたの声】

期 間 2022年8月22日（月）～9月4日（日）

子どものつらい気持ちのピークといわれる夏休み終了前後、この時期に全国キャンペーンを開催することができました。子どもたちの「話す権利」「聴かれる権利」を伝える、子どもの声をたくさん受けとめるためにチャイルドラインとちぎは通常の開催日のほかに電話を1日、チャットを2日増やして、このキャンペーンに参加しました。期間中、夏休み明け学校に行きたくないという声の特徴的でした。

◇全国キャンペーン実施結果

| | 着信件数 | 会話成立件数 |
|----|--------|--------|
| 電話 | 8,124件 | 2,453件 |

| | 書き込み件数 | 会話成立件数 |
|------|--------|--------|
| チャット | 2,930件 | 523件 |

※全国キャンペーンの詳しい実施結果については「チャイルドライン支援センター」ホームページ <http://childline.or.jp> をご覧ください。



☆子どもたちの声を一部紹介します。

※内容はプライバシーに配慮し再構成しています。

- ・学校の集団生活が自分には合わない。
- ・学校が嫌になって夏休みが終わってから学校に行っていない。
- ・毎年、夏休みの終わり頃になると死にたくなる。誰にも本音を話せない
- ・リスカの傷を隠したいがいい方法がない。もうすぐ新学期が始まる。

ネット電話の開設に取り組んでいます

これまでチャイルドラインでは無料でどこからでもアクセスできるフリーダイヤルとチャットで子どもたちとつながってきました。

しかし最近、固定電話をもたない家庭や公衆電話の減少、電話回線の契約をしないスマートフォンの増加によりフリーダイヤルにつながれない子どもたちがいることがわかりました。

そこで、スマートフォンのアプリからの通話（インターネット回線を使った電話）なら、そのような子どもたちともつながることができると考え、チャイルドライン支援センターを中心に全国のチャイルドラインと連携して3年前から準備してきました。

今年度は「ネット電話スタート」の年になります。



研修報告

電話相談の基礎

「死にたい」と訴える子どもへの対応

9月4日(日) とちぎ青少年センター



東京家政大学人文学部心理カウンセリング学科教授で公認心理師・臨床心理士・学校心理士スーパーバイザー・心理学博士の杉山雅宏氏を講師にお迎えし研修を実施しました。

昨年はオンラインで実施した研修でしたが、ぜひ対面で話を伺いたいという要望が多く、今年是对面で実施することができました。

カウンセリングや電話相談などの豊富な経験をもとに、「自傷行為」や「死にたい」と訴える子どもへの理解と対応、そしてその背景について詳しくお話していただきました。

参加者の感想

私はチャイルドラインの受け手になって6年になりますが、子どもたちの「死にたい」という声に決してなれることができません。そのような電話を受けるたびに寄り添えていたのか、もっと違う対応があったのではないかと考えます。そしてこの研修が開催されたのは夏休み明けで、チャイルドラインにつらさを訴える子どもたちの声が多く届いていました。そのようなこともあり参加者の多くが杉山先生から学びたいという気持ちが強かったのではないのでしょうか。皆が真剣に聞き入っていました。

杉山先生のお話しされた中で特に印象に残っているのが、「死という言葉に惑わされるのではなく、死にたいというくらいにつらい気持ちを聴く、そう言わざるを得ない状況を受けとめる。受けとめてくれる人がいるから、子どもたちは本当の思いを打ち明けてくれる。子どもは思いを言語化するのが難しいので話しやすいように声をかけていく」という言葉でした。

そして、「身近な人には話せない問題も私たちを信頼しているから電話をかけてきてくれる。悩みに向き合って真剣に必死に生きている子どもから学ぶ謙虚さを忘れてはいけない」という言葉も心に残りました。自傷行為についても、無理にやめさせるのではなくて、そうせざるを得ない子どもたちの生きづらさに向き合うことが大切で、私たち大人の子どもの時代と、今子どもが生きている社会は大きく違うからこそ、子どものことを知ることが必要だと学びました。

「自分の話を聴いてくれる、わかってくれる大人がいる、つながっていると感じる」と子どもたちに思ってもらえることは大切なことだと思いました。

この研修で対応や受け手の姿勢など多くの気づきを得ることができました。これからの活動に活かしていきたいと思います。



トピックス



「トライ東秋祭り2022」

11月13日(日) トライ東

「トライ東秋祭り 2022」に豚汁店として参加しました。

トライ東は宇都宮市内にある子どもや若者が集う青少年センターです。秋祭りではテイクアウトコーナーのほかにフリーマーケットやステージ発表もあり、100 食用意した豚汁は完売。たくさん子どもたちと触れ合うことができました。



「宮っ子フェスタ」

11月19日(土) オリオンスクエア



「宮っ子フェスタ」とは、家庭・地域・企業・行政等が一体となって同世代・異世代との交流、子育てを社会全体で支え合う、きずなづくりを目的としたイベントです。

チャイルドラインとちぎは会場入口の検温係を担当しました。子どもが職業体験できるコーナー「キッズみや」では子どもたちが笑顔や真剣な表情を見せてくれました。

「セブ島水害支援募金」



チャイルドラインとちぎ事務所内に募金箱を設置したところ、わずかの期間にたくさんの夏服の寄付と募金23,000円が集まりました。船便にて直接送られます。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



S-PEC にカード配布を協力していただきました

S-PEC (エスペック) とは、LGBT かもしれないと思う人や、その家族や友だちや、性の多様性に関心のある人の会です。これまでチャイルドラインとちぎは、度々学習会に参加して交流し学んできました。

S-PEC は今年度、鹿沼市の中学生に性の多様性を伝える授業を行ってきました。その際にチャイルドラインのカードも一緒に配布してくださいました。

授業を通して感じる子どもたちの様子など、次号でお伝えできればと思います。

Twitter @S-PECtochigi <http://S-PEC.jimdo.com/>

「第13回子ども虐待をなくそう! 県民のつどい」

11月26日(土) とちぎ青少年センター



今年も子ども虐待防止月間である11月に合わせ、「子ども虐待ネットワークとちぎ」が「県民のつどい」を開催しました。コロナ禍ではありますが100名近くの方が参加されました。

前半は、2018年東京都目黒区で発生した5歳女児の虐待死事件の検証をはじめ、多くの虐待死検証事例に関わった立正大学の竹智教授の基調講演でした。虐待で亡くなる子を減らすためにも死亡事例の検証をしている、通報は支援の入り口という言葉が印象に残りました。

後半のシンポジウムでは、栃木県中央児童相談所所長の篠原良一氏、日光市子ども家庭支援課家庭児童相談室の手塚良子氏、NPO法人子どもの育ちを支える会さくらネット小山理事長の高橋弘美氏がパネラーとなり、それぞれの活動報告や現状、質疑応答も交えながら課題などについて話し合いました。



◇チャイルドラインとちぎは「子ども虐待ネットワークとちぎ」の構成団体として活動に関わっています。

子どもの貧困撃退のチャリティ

「サンタ de ラン&クリーンに参加」

12月18日(日) オリオンスクエア



毎年ボランティアで参加しているイベントですが、今年は寄付先団体(19団体)として参加、会場警備やピザの販売をしました。石窯で焼き上げた熱々のピザは、雪が降るほどの寒さのなか大盛況でした。ピザの売上金と事務所に募金箱を設置して集めたものを合わせて9万円を寄付することができました。

ピザ作りは宝積寺タクシー様に全面協力いただきました。ありがとうございました。売上げの一部は福祉施設の支援になるそうです。

チャイルドラインとちぎを応援してくれた若者ランナーの活躍にも拍手です。



ご支援ありがとうございました 令和4年7月～令和4年12月

団体

| | | |
|--------------|--------------|----------------|
| 相沢商会(有) | 柏建設株式会社 | 福田こどもクリニック |
| アトリエ松江 | くろさきこどもクリニック | 松田歯科クリニック |
| あんどうこどもクリニック | 社会福祉法人 明誠会 | やしお幼稚園 |
| 生き生き会 | とちぎっ子発達クリニック | (株)渡辺有規建築企画事務所 |
| (有)いちご広告社 | (株)フォールラー | |

個人

| | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 明石 裕子 | 大庭 千鶴 | 小林 孝司 | 高橋 昭彦 | 七澤 清 | 平野 和子 | 松江比佐子 | 森田 恵美 |
| 生野 俊美 | 小野 悦子 | 小松 玲子 | 田中 徹 | 成田 和美 | 廣瀬 隆人 | 松江 真堯 | 森 るみ子 |
| 猪瀬 和典 | 柿沼恵美子 | 下牧千佳乃 | 田巻 秀樹 | 西根 美香 | 福田 容子 | 松江 桂堯 | 矢吹 佳子 |
| 今泉 知子 | 菊池 伸一 | 鈴木千鶴子 | 田村 昌久 | 野中 和子 | 古川 弘 | 松木 正人 | 横田 京子 |
| 宇梶 武夫 | 黒崎登美子 | 曾篠 健二 | 東原 正記 | 野中 貴章 | 星 紀彦 | 麦倉 敬亮 | 横田 英典 |
| 大島 誠 | 黒政 幸子 | 高井 真二 | 手塚 清美 | 野中 友則 | 細内千佳子 | 村山 直樹 | 若色美佐子 |
| 大場 俊一 | 癸生川成美 | 高橋 昭夫 | 栃木さおり | 長谷川央子 | 松江桂四郎 | 村山 雅子 | |

(敬称略・五十音順)

4月30日(日)

「フェスタ my 宇都宮」

宇都宮城址公園
子どもの広場に参加予定

第14期 電話の「受け手」ボランティア募集

■養成講座 2023年5月～9月(10回の研修を予定)

■会場 とちぎ青少年センター(アミークス)

※募集要項等、詳細は3月以降にHP・チラシに掲載します。

チャイルドラインとちぎ チャリティゴルフコンペ 開催のご案内

*日時 2023年5月3日(水) 午前8時20分開会式 午前8時33分スタート

*場所 新宇都宮カントリークラブ(芳賀郡市貝町大谷津1180 ☎0285-68-0811)

*参加費 3,000円(参加費の一部をチャリティとさせていただきます・参加者全員に賞品付)

*プレー費 10,050円(税込み・昼食付)

チャイルドライン支援のお願い

チャイルドラインとちぎは認定NPO法人です。当法人への寄付に際しては、
税法上の優遇措置を受けることができます。フリーダイヤルを継続していく
ために、ぜひご支援くださいますようお願い申し上げます。

支援会員 個人一口 3,000円 団体一口 10,000円

郵便振替 口座番号 00120-2-659158

加入者名 チャイルドラインとちぎ

銀行振込 栃木銀行において本会の趣旨に賛同くださり、本会所定の振込用紙による同行本支店の
振込手数料を無料扱いにしてくださいました。お振込みの場合は下記に「振込用紙」を
ご請求ください。

申し込み・問合せ チャイルドラインとちぎ事務局

TEL・FAX 028-614-3253 E-mail info@cltochigi.org HP <https://www.cltochigi.org/>

